

英語学習の成功と失敗を分ける「大切な要素」



目次

目次

はじめに

英語学習に失敗し続ける原因

英語学習の成功と失敗を分ける「大切な何か」とは？

コンピュータと英語の関係

日本語OSと英語OSの違い

文法の違い

言葉と物・動作の関連付けの違い

英会話教室や留学をおすすめしない理由

効果的な練習法の特徴

パッとSPEAKINGで実現すること

学習手順

はじめに

「勉強しているのに、英語を話せるようにならない。」

「TOEICでは高得点を取れるのに、英会話はぜんぜんダメ。」

「英会話教室に通ってネイティブ講師相手に練習したけど上達しない。」

「聞き流し系の教材で勉強しているけど、いっこうに話せるようにならない。」

「語学留学までしたのに、英語を話せるようにならなかった。」

「英語で話そうと思ったら、とたんに言葉が出てこなくなる。」

という悩みはありませんか？

これらは、英語学習者ならほとんど誰でも経験する悩みです。過去10年、英語だけで生計を立ててきた私も、もちろん経験しました。

どうして英語が出てこないのか？

どうすれば英語を話せるようになるのか？

それが分からずにずっと苦しみました。

長年の試行錯誤と研究の結果、日本人が英語を話せない理由が分かりました。そして、すべての日本人がつまづくポイントを克服する方法をこのレポートにまとめました。

この方法なら、「いくら勉強しても英語を話せない」という苦痛を味わうことはありません。英語を使ってスムーズにコミュニケーションを取れるようになります。

英語学習に失敗し続ける原因

日本人のほぼ全員が、中学・高校と英語を勉強するにもかかわらず、英語を習得できる人はいません。

また、社会人になってからは、駅前などに立ち並ぶ英会話教室や、オンラインの英会話レッスンを受けても、英語を話せるようになる人はあまりいません。

どうしてでしょうか？

実は、学校で英語を勉強しても、ネイティブと英会話の練習をしても英語を話せるようにならないのには理由があります。

学校の授業で英語を話せるようにならないのは当然でしょう。そもそも、筆記試験で点数を取ることを目標としているので、「会話の練習をしない」からです。

会話の練習をしないから会話が上達しないのは当たり前ですね。
野球を練習しなければ野球が上達しないのと同じことです。

でも、会話の練習をすると英語を話せるようになるかというと、そうでもありません。ネイティブ講師が指導する英会話教室で英会話の練習をしても英語を話せるようになる人があまりいないことから、それは分かると思います。

つまり、文法を重視する学校英語も、会話を重視する英会話教室も、「大切な何か」が足りないということです。

次の章から、この「大切な何か」について説明します。

英語学習の成功と失敗を分ける「大切な何か」とは？

文法を勉強しても、英会話教室でネイティブと会話の練習しても英語を話せるようにならないのは、英会話を習得するために必要な「大切な何か」が抜けているからです。

ここでは、この「大切な何か」について説明します。

日本人なら、生まれたときから毎日、日本語に囲まれた生活を始めます。だから、自然と日本語を使いこなす回路が脳に作られます。

日本語を使いこなす回路を持っていると、以下のことを無意識にできるようになります。

1. 意識しなくても、日本語の文法ルールに沿って文章を作れる。
2. 思ったことを瞬間的に言える。
3. 日本語の言葉を聞いたとたんに理解できる。

つまり、意識しなくても日本語を理解して、話すことができます。

ここでは説明のために、日本人なら生活を通じて自然と身につけ、日本語を自由に理解して話す能力のことを「日本語OS」と呼びます。人によっては「日本語脳」とか「英語脳」と呼んでいますが、それと同じものと考えてください。

OSというのは、オペレーティングシステム（基本ソフト）の略語で、コンピュータで言えばWindowsなどがこれに相当します。

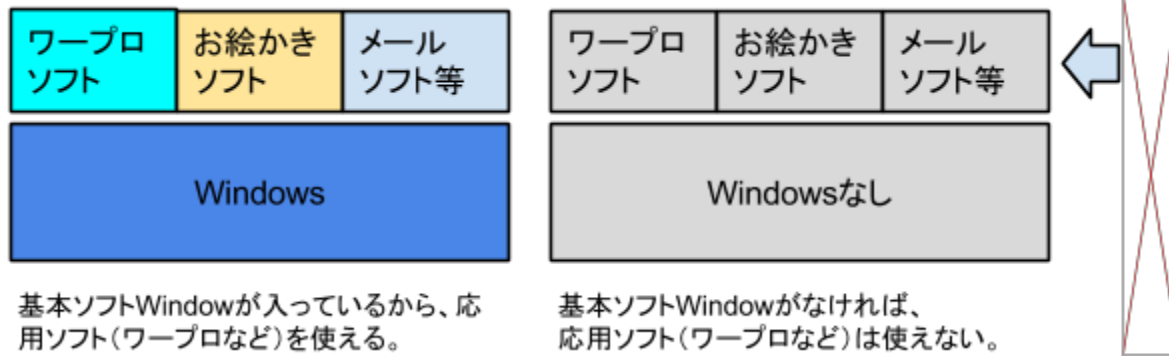
では、日本語OSについて、パソコンを例に説明します。

※コンピュータを例に使いますが、コンピュータの知識がなくても分かりますので、安心して続きを読んでください。ここでは、Windowsを例に説明します。

パソコンを買うと、最初からWindowsがインストール（導入）されています。あまり意識することはありませんが、パソコンを起動したときに最初に表示される画面がWindowsそのものです。Windowsでは、ワープロソフトやインターネット閲覧ソフトを起動して使うことができます。

Windowsがインストールされているからこそ、Windowsの上にワープロソフトやメールソフト、お絵かきソフトなど、さまざまなソフトをインストールすることができるのです。

Windowsがインストールされていなければ、ワープロソフトやメールソフト、お絵かきソフトなどはインストールできません。



上の図のように、Windowsという基本ソフトの上に、ワープロソフトなどを積み上げるようなものとイメージしてください。

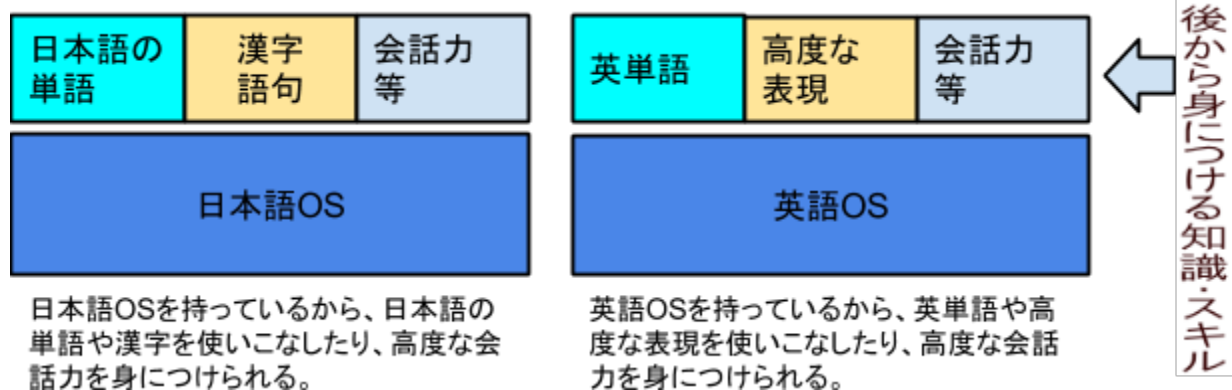
土台となるWindowsがなければ、その上にワープロなどを積み上げる（インストール）ことはできません。つまり、コンピュータにとって、Windowsは一番大切な基礎となる部分なのです。

コンピュータと英語の関係

日本で生まれて生活していたら、日常生活と学校教育を通じて、コンピュータのWindowsに相当する「日本語OS」（日本語脳）が自然に頭の中に作られます。

そして、日本人は、日本語OSを持っているからこそ、学校などで後から勉強することで、さらに高度な日本語の単語や漢字語句を使いこなしたり、高度な会話力を身につけたりすることができます。

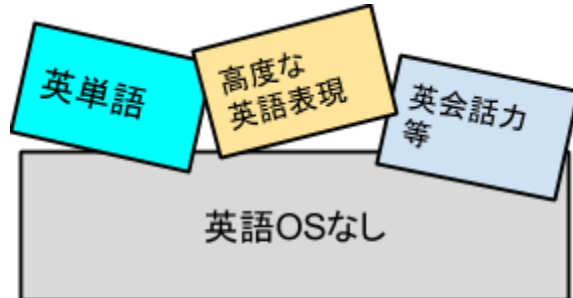
同様に、英語圏で生まれ育つと、英語を使いこなすための「英語OS」（英語脳）が自然に頭の中に作られます。英語が母国語の人も同様に、英語OSを持っているからこそ、さらに高度な英単語や表現などを使いこなすことができます。



つまり、日本語を使いこなすには「日本語OS」がぜったいに必要で、英語を使いこなすには

「英語OS」がぜったいに必要なのです。

英語OSを持っていなければ、いくら英語を勉強しても、「英単語や英文法は知っているけど英語を話せない」という結果になります。土台となる英語OSがなければ、その上に何も積み上げることができないのです。



英語OSがなければ、その上に英単語や高度な英語表現を積み上げられない。

「英語OS」を持っているからこそ、覚えた単語や文法を使いこなすことができるのです。

「日本語OS」「英語OS」を身につけるには？

「日本語OS」や「英語OS」は、子供の時から日本語圏や英語圏で生活していると自然に身につきます。

日本語OSと英語OSは、まったく仕組みが違うため、日本人が英語を身につけるには、最初の段階で英語OSを手に入れる必要があります。

英語OSを持たない状態で英語の勉強を続けるということは、日本語OSの上に英単語や英語表現をむりやり積み上げている（インストールしている）ようなものです。

中学や高校での英語教育がまさにこれですね。英語OSを持っていないのに、次々と単語や英文法を暗記している状態です。

その方法では、英語を習得することはできないことは、中学・高校の英語の授業を受けて英語を使いこなせるようになる人がいないことからお分かりと思います。



日本語OSの上に、英単語や高度な英語表現をインストールしても動作しない。

英語を身につけるためには、最初に「英語OS」を身につけることが、どうしても必要なのです。

「英語OS」を持たない状態で英語の勉強を続けると、「試験では高得点を取れるのに、ぜんぜん英語を話せない」という状態になってしまいます。

日本語OSと英語OSの違い

では、日本語OSと英語OSは、どこが違うのかについて説明します。ここでは、日本人が英語を習得するうえで最も重要なポイントだけに焦点を当てます。

日本語OSと英語OSの違いは、以下の2つです。

1. 文法の違い
2. 言葉と物・動作の関連付けの違い

文法の違い

まず、文法の違いについて説明します。下の画像を見てください。



日本語OSと英語OSでは、単語を並べる順序が違う。

日本人であれば、日本語の文法が身につけているので、左の吹き出しのように、日本語の文法に沿った語順で言葉が出てきます。

でも、英語では、右の吹き出しのように、日本語とはまったく違う語順で言葉を並べる必要があります。

英語OSを持っていない日本人にとって、これはかなり困難な作業です。どんなに頑張っても、日本語の語順で言葉が出てきてしまうからです。

試しに、英語の語順で日本語を話してみてください。どんなに難しいか・・・

英語の語順でスラスラと話せるようになるには、瞬間的かつ無意識に英語の文法で単語を並べることができるように英語OSをインストールする必要があります。

でも、文法を勉強して理屈を覚えただけでは、英語OSは身につきません。

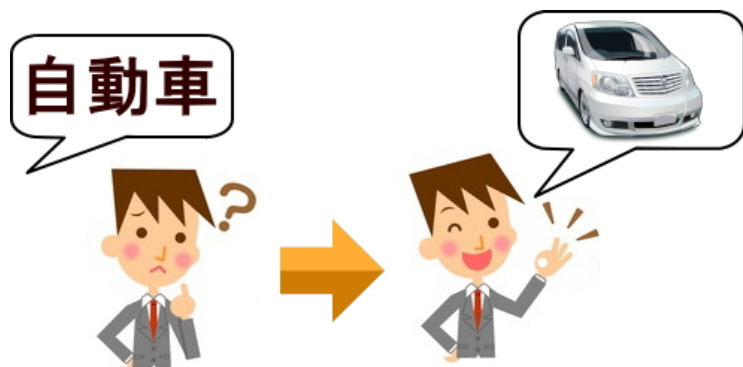
文法を学んだら、次に文法を無意識に使いこなせるように専用のトレーニングをする必要があります。このトレーニングを終えて初めて、英語OSのインストールが完了します。

そして、無意識に英語の文法を使いこなして会話ができるようになります。

言葉と物・動作の関連付けの違い

次に、「言葉と物・動作の関連付けの違い」についてお話しします。

たとえば、日本語OSを持っている人なら、「自動車」という言葉を聞けば、即座に自動車を思い浮かべることができます。



また、英語OSを持っていれば、「car」という言葉を聞けば、即座に自動車を思い浮かべることができます。

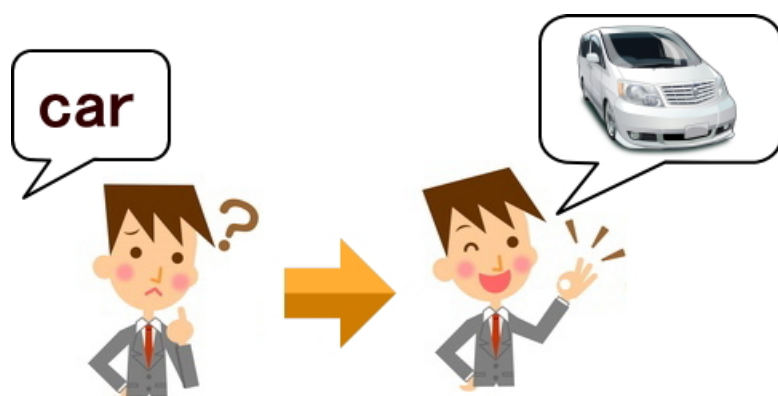


でも、英語OSを持っていないければ、「car」という単語を聞いたときに、まず「自動車」という日本語に訳してから、自動車を思い浮かべるというステップを踏む必要があります。



このように、途中で日本語を挟んで解釈していたのでは、英語を使いこなすことはできません。

だから、英語OSを身につけて、以下のように英語を英語のまま理解できるようにする必要があります。



このように、英語を身につけるためには、英語OSを身につけて

1. 文法の違い
2. 言葉と物・動作の関連付けの違い

という2つを克服する必要があるのです。

英語OSは、受験勉強のような勉強法や、TOEIC対策のような勉強法ではぜったいに身につけません。また、リスニング教材を聞いていても身につけません。

英語OSを身につけるには、専用のトレーニングが必要なのです。

英会話教室や留学をおすすめしない理由

英語OSを身につけるために、とりあえずネイティブ講師が教える英会話スクールや海外留学に行くことを考えるかもしれないですね。

でも、初心者が英会話教室や留学に行くのはおすすめしません。

なぜなら、英語をほとんど話せない状態で外国人と向かい合っても、言葉が出てこないため、

「えっと・・・」

「～って、何て言うのだったかな・・・」

という状態になってしまい、ぜんぜん会話の練習にならないからです。



英語を話せないまま英会話スクールや留学に行っても
英会話を練習することはできない。

「会話にならない」 → 「英語の練習にならない」 → 「英語が上達しない」

という悪いパターンにはまってしまいます。

また、外国人は沈黙を嫌うため、講師がペラペラと話し続けてあなたは聞いているだけになります。英語を話す練習に行っているのに、あなたは聞いているだけという変な状態ですね。



英語で話す練習をしたいのに聞いているだけ

英語を聞くだけなら、家でリスニングCDを聞いているほうが安上がりです。

実際に、何十万円も授業料を払って英会話スクールに行っても、英会話をマスターできなかったという人はおおぜいいます。

もっと言えば、

「英語を話せなかったけれど、英会話スクールに行ったら英語ペラペラになった」

という人を見たことがありません。

その原因は、ここにあります。

語学力アップのために英会話スクールや留学に行くのは、英会話教材を使って英語OSをしつかりと作ってからにするべきでしょう。

英語OSが頭にインストールされた状態なら、話せば話すほど英語が上達する状態になっているからです。

効果的な練習法の特徴

いくら勉強しても英語を話せない状態というのは、日本語OSの上に英語の知識を積み重ねているようなものです。その方法では、英語を使いこなすことはできません。

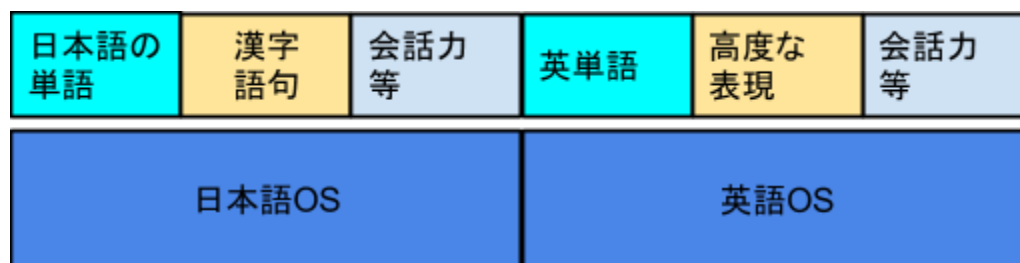


日本語OSの上に、英単語や高度な英語表現をインストールしても動作しない。

そこで、英語OSをインストールすることから始めます。そうすることで、日本語OSを使って英語をムリヤリ解釈するのを止めて、英語OSでスムーズに理解できるようになります。そして、以下が可能になります。

1. 考えなくても、言いたいことが英語で出てくる。
2. 文法を意識しなくても、正しい英文法で話せる。
3. 単語を入れ替えるだけで、どんな内容でも話せるようになる。
4. 日本語に翻訳しなくてもいいので、リスニング力が格段にアップする。

よく見るシチュエーション別の英会話教材とは違い、英語の一番の土台となる英語OSを身につけます。つまり、以下の図のように、日本語OSと英語OSの両方を持っている状態になります。



日本語OSと英語OSの両方を持っている。

このため、英語OSの上に単語や表現を増やすだけで、どんな内容でも話せるようになります。

パツとSPEAKINGで実現すること

学校で学ぶ英語みたいに「使えない英語の知識」ではなく、「使える英語」をマスターするために、英語OSを作り上げます。



英語OSを手に入れたら、英語で言いたいことを言えるようになります。

もちろん、「え〜っと。」「〜って、英語で何て言うのだったかな・・・」と、ウンウンうなりながら考え込むことはなくなります。考えたことをスツと英語で言えるようになります。

そして、新しく覚えた単語や表現を会話の中で自由に使えるので、「ムダな知識」を積み重ねるムダがなくなります。

また、英語をぜんぜん話せない状態では、外国人を相手に英会話の練習をすることはできません。



英語を話せないまま英会話スクールや留学に行っても英会話を練習することはできない。

でも、英語で言いたいことを表現できるようになるので、外国人とドンドン会話をして、どんどん英会話が上達します。

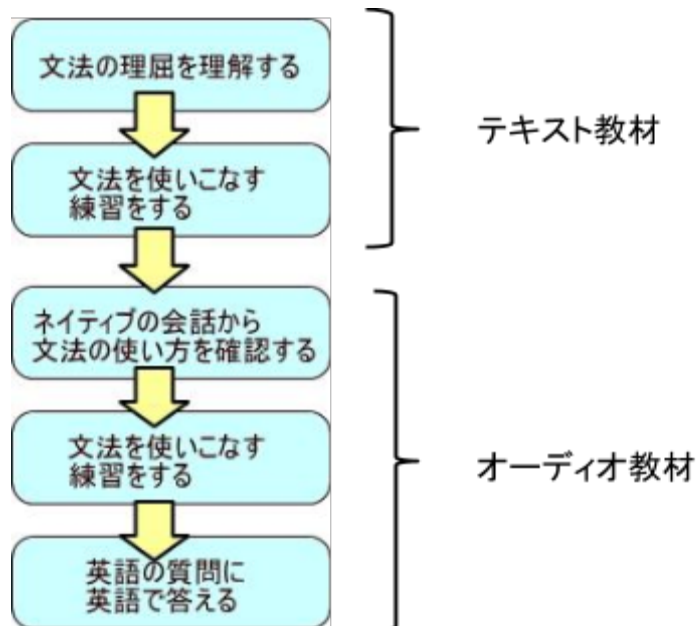


英語を話せるので、どんどん上達する

もちろん、単語を言うだけのブローケンイングリッシュではなく、正しい文法を使って言いたいことを表現できるようになります。

学習手順

詳しい学習手順について説明します。以下の手順で学習を進めることで、英語を自由に使いこなす能力、つまり英語OSを身につけます。



上の図について説明します。

まず、基本文法を学びます。学校英語で出てくるような、不必要に細かい文法事項は含まれていません。英会話に必要な最小限の文法事項にしぼって学びます。

次に、例文を使って瞬間的に英作文するための練習をします。先ほど学んだ文法を使って英会話のときにパツと話せるようになるためには、この練習を十分にしておく必要があります。

ここまでの練習は、テキスト教材を使って、日本語の文章を英語に訳す練習を通じて行います。英会話では音声を使った練習が必須ですが、この段階では、確実に英語OSの土台を作るために、あえて音声を使わずに、文字を使って練習します。



テキストでの練習の次に、オーディオを使った練習を始めます。

オーディオを使う練習では、テキストでの練習より、はるかに速く英作文する必要があるため、考えたことを瞬間的に英語で話すための能力が身につきます。



また、音声を聞きながら繰り返し練習することで、正しい発音を身につけることができます。

オーディオを使う練習でも、前半は、日本語を聞いて、瞬間的に英作文する練習を繰り返します。このトレーニングを通じて、考えたことを瞬間的に英語で言う能力を鍛えます。

そして、仕上げとして、英語での質問に英語で答える練習を行います。



この練習では、英語の質問を瞬時に理解して、即座に英語で返答する能力が鍛えられます。

このように、パッとSPEAKINGでは、

1. 考えたことを瞬間的に英語で言う練習
2. 聞いた英語を瞬時に理解して、英語で返答する練習

を通じて、英語OSを新しく頭の中に作ります。

※英語OSをインストールすることが目的なので、簡単な単語だけを使って練習します。難しい単語や表現がたくさん出てくると、それらを覚えることにエネルギーが割かれてしまい、本来の目的である英語OSの獲得が難しくなるためです。